

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力を育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点 プレゼン教育・歩み寄り教育・郷土教育・ICT教育 未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成	⑤安全・安心で快適な学校環境の整備 ④DXを地域で実践する等の推進 ③子ども地域関係者の協働による郷土教育の推進 ②豊かな心、自己実現を支える協力の推進 ①豊かな心、健康な体力、確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進	輝け 東小の子 明るく やさしく たくましく	仲間を尊重し 自分から進んで 挑戦し続ける力	主体的な学びの創造	①② 解決したくなるような魅力的な課題提示	各教科の専門性を生かした、ワクワクするような導入のあり方、必然性のある課題のあり方を明確にする。	A	児童アンケート「授業の課題に自分から進んで取り組み、新しいことが分かり、できるようになったか」88% ○「主体的な学びの創造」を学習指導のテーマとし、児童が主体的に取り組む授業を常にイメージして実践した。 ○児童自ら主体的な学びに向かうため、魅力的な課題作りや仲間との学び合い、自らの考えをよりよくする対話活動を取り入れた。 ○校内研究として、全員授業公開をして年間通して実践を進めた。 →その結果、児童自身が授業で分かることや、できることが増えたと感じている。 ◆「児童自ら主体的に取り組む」姿の捉えが教師によって異なるため、来年度の校内研究では、その捉えをすり合わせる。
					①② 児童自ら主体的に取り組む授業	児童自ら主体的に取り組むとはどういう姿なのかを具体的に描く。(専門教科等において)	B	
					① 対話によって一人ひとりの考えが深まる授業	対話に必然性をもたせ、目的意識をもって対話ができるような支援の仕方を校内研究会などで明らかにする。	A	
				より良い人間関係の構築	② ポジティブな行動を支援し、評価する。	児童の主体的な行動を積極的に認め、可視化していく取り組みを各学年に応じて整える。	A	児童アンケート「よりよい学校にしようと、係や委員会の活動を工夫しているか」90% 保護者アンケート「お子さんは、クラスの仲間等とよい関わりをもち、明るく学校生活を送れているか」93% ○児童が主体的に動き出し、学校や仲間が変わっていく様子を、互いに認め合いながら取り組んだ。 ○チーム担任制は、不登校やいじめ対応に成果があった。 ◆チーム担任制のメリットを活かした実践についてさらに深めていく。
					②⑤ 多様なサポートによる児童の安心感の向上	チーム担任制や、マイサポーターなど、いつでもどこでも誰にでも相談できる体制を整える(場所や時間の確保、記録、情報共有の徹底をする)	B	
					② 東小の「なりたい自分」の取り組み方法の確立	目標の立て方、取り組み課程、振り返りの方法について検証し、学年ごとに確立する。	A	
			探究的な学びの追究	①③ まちづくり協議会と協働した探究的な学習の充実 ③④ 煥章学の地域への発信 ③ 新生東小学校の設立を意識した郷土教育の推進	①③ まちづくり協議会と協働した探究的な学習の充実	課題づくりのところからまちづくり協議会と打ち合わせをし、児童自ら主体的に探究的な学びができるようなカリキュラムを学年ごとに確立する	B	児童アンケート「地域のことを調べたり、地域の方から学んだりする学習に進んで取り組んでいるか」85% ○地域学習では、生活科・総合の学習を中心にまち協の方のお力を借りて取り組んだ。 ◆児童自らが主体的・探究的に学ぶために、課題設定や方途において教師による工夫が必要である。 ○12月の学習発表会では、岩滝小と合同で実施し、互いの学びの良さや地域の魅力を伝え合った。その学びをもとに協力して2校区の「魅力マップ」を作成した。 児童アンケート「タブレットの利用や仲間との対話等、自分に合った学び方で楽しく学ぶことはできたか」90% ○教科の授業や児童会活動等、日常的に幅広く、児童の発信の場が設定され、ICT活用の発信も増えてきた。
					③④ 煥章学の地域への発信	学習発表会等を活かし、児童の発信の場とICTと活用した発信方法を工夫する。	A	
					③ 新生東小学校の設立を意識した郷土教育の推進	岩滝小学校の魅力と、東小学校の魅力を兼ね合わせた校区マップを児童のアイデアや思いを生かしたものにす。	A	

学校運営協議会における主な評価内容

学校での児童の挨拶は良い。地域等、学校外では少し元気がないように思う。相手への尊重の気持ちがあってこそ挨拶に表れるので、短期ではなく6年間で育てていきたい。地域で行った防災行事では、小中学生が進んで取り組む姿があった。まち協で防災かるたを作った際、児童は意欲的に取り組み、発表が上手だった。学校内外の多くの場で自己表現する場があるので、発信することに挑戦し続けることが大切だ。岩滝小の児童と保護者は、東小に通うことに安心感を持ち楽しみにしている。